

薬に関する知識を実験を通して教える名城大の学生たち＝日進市の香久山小で



協力協定を結んだ。香

久山小は、教育活動の

中に積極的に体力向上

や保健に関する活動を

取り入れている。

授業では、名城大

学院博士課程三年の特

任助手後藤綾さん(三)

を中心に、学部生たち

が実験を手伝うなどし

ながら教えた。

実験では、水やお茶

が入った試験管に飲み

後藤さんは「子どもたちが予想以上に薬の服用について関心を持っていた。授業で学んだことを、保護者の方たちにも伝えてもらえたら」と話した。

(村松秀規)

薬を入れて色の変化を観察。飲み合わせによつて薬の効果が落ちたり、副作用が出たりすることなどを学んだ。

参加した男子児童

(二)は「これからは、

薬を飲むときは薬剤師

さんの話をちゃんと聞いて飲むようにします」と話した。

日進市は二十八日、同市香久山小学校の六年生計百六十一人を対象に、実験を通して薬の正しい知識を学ぶ体験授業を実施した。名城大(天白区)薬学部の学生ら計十九人が講師を務めた。

同市は大学との連携事業を進めており、名城大とは三月にまちづくり事業の一環で連携